

標 題 : Mediterranean diet cools down the inflammatory milieu in type 2 diabetes:  
the MÉDITA randomized controlled trial  
2 型糖尿病で糖尿病は炎症環境を落ち着かせる :  
MÉDITA ランダム化対照比較試験

---

著 者 : M. I. Maiorino, et al. (イタリア ナポリ第二大学  
内科、外科、神経、代謝、加齢学部 内分泌、代謝疾患部)

---

掲 載 誌 : Endocrine 2016 Feb 9. [Epub ahead of print] [印刷に先立つ電子出版]

---

要 旨 :

地中海式食事は、心臓血管系の効能を提供しインスリン感受性を高める。

2 型糖尿病で、地中海食の順守が炎症環境の水準に影響するかについて証拠は少ない。

この研究の目的は、新たに診断された 2 型糖尿病で地中海食事が C-反応性タンパク質(CRP)とアディポネクチンの両方に影響するか、および地中海食の順守がそれらの血中濃度に影響するかを評価することであった。

2 群の 1 センター試験で、2 型糖尿病と新たに診断された 215 人の男性と女性を地中海食(n=108、男性 54、女性 54)または低脂肪食(n=107、男性 52、女性 55)にランダムに分けて、8.1 年間追跡した。

開始時の診断および 1 年目に、体重、HOMA 指数(インスリン抵抗性指数)、CRP およびアディポネクチンとその区分を評価した。

地中海食スコアを計算して、その食の順守を評価した。

1 年目に、地中海食群で CRP は 37%低下しアディポネクチンは 43%上昇したが、低脂肪食群では変化しなかった。

アディポネクチン区分(高分子量と非高分子量)のパターンは総アディポネクチンと同様な反応を示した。

地中海食順守が最高スコア(6-9 点)の糖尿病患者は、<3 点の糖尿病患者よりも低い血中 CRP 値および高い血中総アディポネクチン値であった(P=0.001)。

このランダム化対照比較試験の結果は、地中海食は 2 型糖尿病の炎症環境を落ち着かせると実証している。

キーワード : アディポネクチン、CRP(C-反応性タンパク質)、地中海食、2 型糖尿病

PMID:26860514 DOI:10.1007/s12020-016-0881-1

---